
ロゴスキー C.S. 先生、小澤幸夫先生、 嶋谷誠司先生、広嶋進先生を送る

経営学部長 真鍋明裕

経営学部がみなとみらいに来て、まもなく2年となります。平塚時代を知る先生もすっかり通勤にも慣れ、新しいキャンパスでの過ごし方が確立されてきたのではないかと思います。横浜・みなとみらいを拠点として、経営学部の教育・研究がさらに進展していくことを願っております。

さて、この2023年3月をもって、経営学部で長くご活躍されてきたロゴスキー C.S.先生、小澤幸夫先生、嶋谷誠司先生、広嶋進先生がご定年ないしご定年扱いにて退職されます。ここでは、4名の先生方のこれまでのご活動等を振り返りたいと思います。

ロゴスキー先生は1992年に経営英語の担当教員として着任され、上級英語のほか、教養演習や専門ゼミナール等を担当されました。ロゴスキー先生は経営学部だけでなく、全学的なレベルでも英語担当者として責任ある役割を担われ、多くの教員の意見をまとめるなど大きなご貢献をなさいました。また、ゼミを重視する経営学部において、ロゴスキー先生は英語でゼミを開講されている貴重な先生でした。経営学部には英語へのモチベーションの高い学生が一定数いますが、このような学生の学びの意欲に応えることができたのも、ロゴスキー先生がいてくださったからこそでした。とても優しいお人柄で、お会いしたときはいつも笑顔で声をかけてくださいました。入試でご一緒したときに、私は拙い英語しか話せませんが、ロゴスキー先生と英語で会話できたことが思い出です。

小澤先生は1995年に経営ドイツ語の教員として着任され、上級・中級・初級の各ドイツ語を担当されました。ドイツ語といえば小澤先生、という存在であり、ドイツ語教育の中心として湘南ひらつかキャンパス、そしてみなとみらいキャンパスの教育を支えてくださいました。また、経営学部の専攻科目としては、「スタディー・アブロード」を担当され、学生の実習先であるオーストリアの歴史や文化、社会問題等を講義されるとともに、ウィーンへの引率もされました。ドイツ語圏へのスタディー・アブロードは知識面でも実習面でも、小澤先生なしには成り立たないものであり、先生の果たされたご貢献はたいへん大きいものでした。私個人としては、小澤先生とは、研究にドイツが関係しているという共通項があることもあり、学内でお会いしたときにはドイツのお話を楽しく伺っていました。私が着任して間もない頃から、いつも暖かく接してくださったことを覚えています。

嶋谷先生は1991年に経営体育の教員として着任され、健康科学、生涯スポーツ、競技スポーツ、スポーツ経営論等を担当されました。社会の一人一人が健康で働けること、また、従業員の健康に留意しながら企業運営・組織運営を行うことの重要性は、今では広く理解されているところですが、嶋谷先生は早くからこのことに着目し、授業や学生指導にあたられていました。スポーツ・健康と経営学との間に共有点を見出し、経営学部の多様な教育の実現に大きく貢献

されました。経営学部にはスポーツ推薦で入学する学生が多くいますが、嶋谷先生はそうした学生がスポーツにおいて実績を残す以前に、経営学部生として勉学をおろそかにしないことをとりわけ重視し、学生に指導されていました。業務で一緒したときに、このことを熱く語っておられたことが印象に残っています。

広嶋先生は2009年に経営一般教育の教員として着任され、「世界の中の日本」や「文学」といった共通教養科目のほか、経営学部専攻科目では教養演習等を担当されました。広嶋先生は江戸時代の浮世草子作者・俳諧師である井原西鶴の専門家であり、西鶴に関するご著書を多数刊行されています。西鶴の作品には商取引が多く登場するとともに、それに関係する人間の営みが描かれているということで、広嶋先生の講義は経営学部生にとっても興味深いものであったことと思います。

ロゴスキー先生、小澤先生、嶋谷先生、広嶋先生には、それぞれのご専門から、経営学部や全学の教育・研究・運営等を支えていただきました。その長年にわたるご尽力に心より感謝申し上げますとともに、先生方がこれからもお元気でご活躍されますことを祈念いたします。

定年退職教授の略歴



ロゴスキー C. S. 准教授

(1952年11月12日生まれ)

学歴

- 昭和45年8月 アメリカアメリカホリー・ネームズ大学入学
- 昭和49年5月 アメリカアメリカホリー・ネームズ大学卒業[文学士]
- 昭和55年9月 アメリカオハイオ大学大学院人文科学研究科修士課程入学
- 昭和57年8月 アメリカオハイオ大学大学院人文科学研究科修士課程修了[言語学修士]

職歴

- 昭和52年 海外青年協力隊(昭和54年まで)
- 昭和56年9月 アメリカオハイオ大学英語集中プログラムセンター非常勤講師(昭和56年12月まで)
- 昭和57年9月 アメリカ州立カンザス大学アプライド・イングリッシュセンター(国際学部学部附属応用英語センター)専任講師(昭和61年7月まで)
- 昭和61年8月 アメリカ州立カンザス大学アプライド・イングリッシュセンター(国際学部附属応用英語センター)所長アシスタント(平成3年3月まで)
- 平成3年4月 アメリカ州立カンザス大学アプライド・イングリッシュセンター(国際学部附属応用英語センター)所長補佐(平成4年3月まで)
- 平成3年5月 アメリカカリフォルニア大学非常勤講師(平成3年6月まで)
- 平成4年4月 神奈川大学経営学部経営英語専任講師(平成8年3月まで)
- 平成8年4月 神奈川大学経営学部経営英語助教授(平成19年3月まで)
- 平成19年4月 神奈川大学経営学部経営英語准教授(現在に至る)

学会及び社会における活動等

現在所属している学会：Kansas Teachers of English to Speakers of Other Languages 学会、
Teachers of English to Speakers of Other Languages 学会
Japanese Association of Language Teachers (JALT)
Kansas Teachers of English to Speakers of Other Languages 学会(国内学会) 会員 (現在に至る)
Teachers of English to Speakers of Other Languages 学会(国内学会)
会員 (現在に至る)

平成17年 4月 個人研究 Study on Communicative Testing-American Culture and Society
(現在に至る)

業績

(著書)

- 1 Academic Mini-Lectures:A text for 共著 平成 2 年 (Maxwell Macmillan)
Listening andNote-Taking Practice

(学術論文)

- 1 上級レベルの文脈上の発音演習について 単著 昭和58年 4月 カンザス TESOL 学会
- 2 状況別練習について 単著 昭和59年 3月 カリキュラム情報センター会報
- 3 The American Communicative Style : 単著 平成 5 年11月 Intrnational Business &
Experience in Diversityfor Japanese Students management Forum –
Kanagawa University
- 4 Interview Tests for Conversation 共著 平成 8 年 2 月 Kanagawa Univ.Intl.
management Review
- 5 Using surveys to developcritical 単著 平成13年 Kanagawa Univ.
thinking andbuild community International
Management
Review,21133-144 頁
- 6 Embracing Diversity 単著 平成27年11月 Kokukeikendayori
(47) , pp.2-3 (Kanagawa
University International
Business Administration
Research Institute)

定年退職教授の略歴



小澤 幸夫教授

(1952年7月7日生まれ)

学歴

- 昭和47年4月 信州大学 人文学部 文学科入学
昭和51年3月 信州大学 人文学部 文学科卒業[文学士]
昭和51年3月 教員免許状 中学校教諭一級国語・外国語(ドイツ語)(昭50中一普第112号)取得
昭和51年3月 教員免許状 高等学校教諭二級国語・外国語(ドイツ語)(昭50高二普第116号)取得
昭和53年4月 北海道大学大学院 文学研究科 独文学専攻 修士課程入学
昭和55年3月 北海道大学大学院 文学研究科 独文学専攻 修士課程修了[文学修士]「ヘルマン・ヘッセに関する一考察〈Narzi β und Goldmund〉評釈の試み」
昭和56年4月 北海道大学大学院文学研究科独文学専攻博士後期課程 入学
昭和57年10月 西ドイツ・マールブルク(フィリップス)大学 留学(昭和58年9月まで)
昭和58年10月 ウィーン大学 留学(昭和59年9月まで)
昭和61年3月 北海道大学大学院文学研究科独文学専攻博士後期課程 単位取得後満期退学
平成4年4月 ウィーン大学大学院 留学(平成7年3月まで)
平成6年10月 ウィーン大学[文学博士]
平成8年11月 通訳案内業免許(受験外国語ドイツ語)取得

職歴

- 昭和51年4月 飯田女子高等学校 教諭(昭和52年3月まで)「国語担当」

- 昭和52年 4月 東京都立大学 聴講生 (昭和53年3月まで)
- 昭和55年 4月 北海道大学大学院 聴講生 (昭和56年3月まで)
- 昭和61年 4月 佐賀大学 教養部 専任講師 (昭和63年12月まで)
- 平成元年 1月 佐賀大学 教養部 助教授 (平成4年3月まで)
- 平成元年 3月 ウィーン大学 佐賀大学在外研究員 (平成2年3月まで)
- 平成7年 4月 神奈川大学 経営学部 経営ドイツ語 助教授 (平成10年3月まで)
- 平成9年 4月 神奈川大学 教務部委員会委員 (平成11年3月まで)
- 平成10年 4月 神奈川大学 経営学部 経営ドイツ語 教授 (現在に至る)「上級ドイツ語II、中級ドイツ語I b、中級ドイツ語II b、初級ドイツ語I b、初級ドイツ語II b」担当
- 平成12年 4月 ウィーン大学 神奈川大学在外研究員 (平成13年3月まで)
- 平成18年 4月 神奈川大学 共通メディア教育部会委員 (平成20年3月まで)
- 平成18年 4月 神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス外国語・共通科目教育協議会委員 (平成20年3月まで)
- 平成20年 4月 神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス外国語・共通科目教育協議会委員 (平成22年3月まで)
- 平成22年 4月 神奈川大学 セクシャル・ハラスメント調査委員候補団 (平成23年3月まで)
- 平成23年 4月 神奈川大学 図書館運営委員会委員 (平成24年3月まで)
- 平成23年 4月 神奈川大学 学術情報委員会委員 (平成24年3月まで)

学会及び社会における活動等

現在所属している学会：北海道ドイツ文学会、日本独文学会

- 昭和53年 4月 北海道ドイツ文学会 (国内学会) 会員 (現在に至る)
- 昭和55年 4月 日本独文学会 (国内学会) 会員 (現在に至る)
- 平成17年 4月 個人研究 アルトゥア・シュニッツラーの研究 (現在に至る)
- 平成17年 4月 個人研究 ヘルマン・ヘッセの研究 (現在に至る)

業績

(著書)

- 1 ヘルマン・ヘッセをめぐって－その深層 共著 昭和57年12月 (三修社)
心理と人間像 (査読付)
- 2 Japanisches bei Arthur Schnitzler 単著 平成7年3月 (Peter Lang)
- 3 ヘッセからの手紙 共著 平成7年12月 (毎日新聞社)
- 4 ヘッセ魂の手紙 共著 平成10年10月 (毎日新聞社)
- 5 ヘッセの誘い 共著 平成11年5月 (毎日新聞社)
- 6 「ヘルマンヘッセ全集13」(「デーミアン」共著 平成17年12月 (臨川書店)
「戯曲」の試み)
- 7 「ヘルマン・ヘッセエッセイ全集 第一巻」共著 平成21年1月 (臨川書店)
(1917年・1918年の精神分析の夢日記)

(学術論文)

- 1 ヘッセ文学における女性像の変遷と母の像—“Narzi β und Goldmund”を中心に 単著 昭和57年1月 北海道大学文学部独語独文学研究年報第8号(1981) 53-72頁
- 2 ヘッセと深層心理学 単著 昭和58年1月 北海道大学文学部独語独文学科研究年報第9号(1982) 33-43頁
- 3 シュニッツラーの“Reigen”について 単著 昭和61年1月 北海道大学ドイツ語学文学研究会研究年報第12号(1985) 21-47頁
- 4 “Reigen”の成立と出版をめぐって 単著 昭和62年3月 佐賀大学教養部研究紀要第19巻(1987) 141-153頁
- 5 Zur Entstehungs- und Verlagsgeschichte des “Reigen”s 単著 平成3年3月 佐賀大学教養部研究紀要第23巻(1991) 69-81頁
- 6 “Reigen” - Renaissance ? - 1980年代の“Reigen”上演をめぐって(査読付) 単著 平成3年11月 西日本ドイツ文学第3巻(1991) 35-46頁
- 7 シュニッツラー生前の“Reigen”上演をめぐって 単著 平成4年3月 佐賀大学教養部研究紀要第24巻(1992) 53-73頁
- 8 ドイツ語教授法アンケートの結果とその考察 共著 平成4年3月 佐賀大学教養部研究紀要第24巻(1992) 27-51頁
- 9 Japanisches bei Schnitzler 単著 平成6年4月 ウィーン大学提出(1994) 235頁
- 10 ドイツ・オーストリアの大学と日本の大学 単著 平成8年3月 神奈川大学国際経営研究所国際経営フォーラム第7号(1996) 137-153頁
- 11 ヘッセの『夢日記』と『デーミアン』の成立 単著 平成9年12月 神奈川大学経営学部国際経営論集第14号(1997) 97-132頁
- 12 「ミカド」と「ゲイシャ」—シュニッツラーの観たオペレッター— 単著 平成11年3月 神奈川大学経営学部17世紀文学研究会「麒麟」第8号(1999) 102-113頁
- 13 ドイツ統一とヨーロッパ統合 単著 平成11年3月 神奈川大学国際経営研究所国際経営フォーラム第10号(1999) 29-43頁
- 14 “Familie” - ein ewig unfertiges Werk von Arthur Schnitzler? (査読付) 単著 平成14年 Maske und Kothurn47. Jahrgang, Heft1-2 (2002) 141-153頁
- 15 「ブラームスはお好き？」—ヘルマン・ヘッセの場合 単著 平成14年3月 神奈川大学経営学部17世紀文学研究会「麒麟」第11号(2002) 69-82頁

- 16 ハイナー・ヘッセ氏との対話 単著 平成14年6月 神奈川大学国際経営研究所国際経営フォーラム第13号(2002)187-193頁
- 17 ヘッセ兄弟の思い出
—ブルーノ氏とハイナー氏を偲んで— 単著 平成16年3月 神奈川大学経営学部17世紀文学研究会「麒麟」第13号83-88頁
- 18 悠久なる川の呼び声—『シッダールタ』の
シュトッフとモチーフ、構造の解明— 単著 平成16年3月 神奈川大学経営学部 国際経営論集第27号(2004)31-70頁
- 19 St. とは何か 単著 平成19年3月 神奈川大学経営学部17世紀文学研究会『麒麟』第16号冒頭,20-22(11-13)頁
- 20 カントの大学論—『学部の争い』 単著 平成20年3月 神奈川大学経営学部『国際経営論集』(35),63-71頁
- 21 フィヒテの教育論(1)—『ドイツ国民に
告ぐ』 単著 平成22年3月 神奈川大学経営学部『国際経営論集』(39),235-248頁
- 22 フィヒテの教育論(2)—『学術アカデミー
との適切な連関をもったベルリンに創立
予定の高等教育施設の演繹的性格』 単著 平成23年10月 神奈川大学経営学部『国際経営論集』(42),51-65頁

定年退職教授の略歴



嶋谷 誠司教授

(1956年5月13日生まれ)

学歴

- 昭和50年4月 日本体育大学 体育学部 健康学科入学
- 昭和54年3月 日本体育大学 体育学部 健康学科卒業[体育学士]
- 昭和54年3月 教員免許状 中学校教諭一級保健体育(昭54中一普第2240号)取得
- 昭和54年4月 日本体育大学大学院 体育学研究科 体育学専攻 修士課程入学
- 昭和56年3月 日本体育大学大学院 体育学研究科 体育学専攻 修士課程修了[体育学修士]
- 昭和56年3月 教員免許状 高等学校教諭一級保健体育(昭56高一普第141号)取得
- 昭和61年11月 食品衛生責任者免許状(登録番号東食養605112号)取得
- 昭和62年2月 防火管理者免許状(登録番号第351615号)取得
- 平成3年6月 NGF日本ゴルフ財団インストラクター資格(第20199号)取得

職歴

- 昭和56年4月 日本体育大学 体育学部 助手(昭和58年3月まで)
- 昭和58年4月 日本体育大学大学院 研究員(昭和60年3月まで)
- 昭和58年4月 東京衛生学園専門学校 講師(昭和60年6月まで)「体育実技担当」
- 昭和58年4月 駒込高等学校 兼任(非常勤)講師(昭和59年3月まで)
- 昭和58年9月 四谷アスレチッククラブ マネージャー(支配人)(昭和59年3月まで)
- 昭和59年4月 東邦大学 非常勤講師(昭和60年6月まで)
- 昭和60年4月 福岡スポーツ研究所 研究員(昭和61年3月まで)

- 昭和61年 4月 株式会社ピース企画 取締役 営業部長(昭和63年3月まで)「スポーツ・レクリエーションコンサルタント」
- 昭和63年 4月 専修大学 非常勤講師(平成3年3月まで)
- 昭和63年 4月 日本体育大学 体育学専攻科 非常勤講師(平成3年3月まで)
- 昭和63年 4月 日本体育大学 体育学部 非常勤講師(平成2年3月まで)
- 昭和63年 4月 桜美林学園高等学校 兼任(非常勤)講師(平成元年3月まで)
- 平成元年 4月 フェリス女学院大学 非常勤講師(平成2年3月まで)
- 平成元年 4月 東洋英和女学院短期大学 非常勤講師(平成3年3月まで)
- 平成元年 4月 桜美林大学 非常勤講師(平成2年3月まで)
- 平成2年 4月 神奈川大学 外国語学部 体育 非常勤講師(平成3年3月まで)
- 平成2年 4月 産業能率短期大学 非常勤講師(平成7年3月まで)
- 平成2年 4月 神奈川大学 非常勤講師(平成3年3月まで)
- 平成2年 4月 関東学院大学 非常勤講師(平成3年3月まで)
- 平成3年 2月 「文部省教員組織審査」神奈川大学経営学部保健体育専任講師(体育実技)の判定を受ける
- 平成3年 4月 神奈川大学 経営学部 経営体育 専任講師(平成8年3月まで)
- 平成6年 8月 (社)全国大学体育連合夏期中央研修会 講師(平成6年8月まで)
- 平成7年 4月 神奈川大学 学生部委員会委員(平成9年3月まで)
- 平成7年 4月 神奈川大学 経営学部 学生部委員(平成8年3月まで)
- 平成8年 4月 神奈川大学 経営学部 経営体育 助教授(平成19年3月まで)
- 平成8年 4月 神奈川大学 学生部副部長(平成9年3月まで)
- 平成9年 4月 神奈川大学 心と身体と学生生活の相談室運営委員会委員(平成10年3月まで)
- 平成9年 4月 神奈川大学 経営学部 教務委員会委員(平成12年3月まで)
- 平成9年 6月 神奈川大学 学生の協力を得た行事实行委員会委員(平成11年3月まで)
- 平成9年 8月 東京女学館短期大学 兼任(非常勤)講師(平成11年8月まで)
- 平成9年 8月 東洋英和女学院短期大学 兼任(非常勤)講師(平成10年8月まで)
- 平成10年 4月 神奈川大学 心と身体と学生生活の相談室運営委員会委員(平成11年3月まで)
- 平成10年 8月 (社)全国大学体育連合北陸支部夏期中央研修会 講師(平成10年8月まで)
- 平成11年 3月 横浜スポーツ研究会 講師(平成11年3月まで)
- 平成11年 4月 神奈川大学 心と身体と学生生活の相談室運営委員会委員(平成12年3月まで)
- 平成11年 4月 横浜市教育委員会 講師(平成13年3月まで)
- 平成11年 4月 産能大学 通信教育 兼任(非常勤)講師(平成18年3月まで)
- 平成11年 6月 神奈川大学及び平塚市 講師(平成13年6月まで)
- 平成11年 9月 神奈川大学 セクシャル・ハラスメント対策委員会小委員会委員(平成13年9月まで)
- 平成11年 9月 神奈川大学 セクシュアル・ハラスメント対策委員会委員(平成13年9月まで)
- 平成12年 4月 神奈川大学 入試管理委員会委員(平成14年3月まで)
- 平成12年 4月 神奈川大学 心と身体と学生生活の相談室運営委員会委員(平成14年3月まで)
- 平成12年 4月 神奈川大学 入試管理委員会委員(平成14年3月まで)
- 平成15年 4月 神奈川大学 経営学部 教務委員会委員(平成17年3月まで)
- 平成16年 3月 横浜スポーツ研究会 講師(平成16年3月まで)
- 平成17年 4月 神奈川大学 入試管理委員会委員(平成19年3月まで)

- 平成18年4月 神奈川大学 経営学部 学修進路支援委員会委員 (平成26年3月まで)
- 平成19年4月 神奈川大学 経営学部 経営体育 准教授 (平成27年3月まで)「健康科学Ⅰ、健康科学Ⅱ、健康科学Ⅲ、健康科学Ⅳ、基礎演習Ⅱ、演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、演習Ⅳ (含む卒業論文)、生涯スポーツⅠ、競技スポーツⅠ、競技スポーツⅡ、競技スポーツⅢ、競技スポーツの基礎、スポーツ経営総論、スポーツマンシップ論」担当
- 平成19年4月 神奈川大学 メディア教育・情報システム委員会委員 (平成20年3月まで)
- 平成19年4月 神奈川大学 共通メディア教育部会委員 (平成20年3月まで)
- 平成19年4月 神奈川大学 学修進路支援委員会委員 (平成21年3月まで)
- 平成19年4月 神奈川大学 学修進路支援部副部長 (平成20年3月まで)
- 平成21年7月 日本大学 法学部 兼任 (非常勤) 講師 (平成23年7月まで)
- 平成23年7月 神奈川大学 安全衛生委員会委員 (平成25年6月まで)
- 平成24年4月 神奈川大学 教学改革委員会委員 (平成25年3月まで)
- 平成24年4月 神奈川大学 評議会評議員 (平成26年3月まで)
- 平成24年4月 神奈川大学 安全衛生委員会委員 (平成25年3月まで)
- 平成25年4月 神奈川大学 教学改革委員会委員 (平成26年3月まで)
- 平成26年4月 神奈川大学 安全衛生委員会委員 (平成27年3月まで)
- 平成27年4月 神奈川大学 経営学部 経営体育 教授 (現在に至る)「生涯スポーツA、スポーツ異文化体験、競技スポーツⅡ、競技スポーツの基礎、スポーツマンシップ論」担当
- 平成27年4月 神奈川大学 安全衛生委員会委員 (平成29年3月まで)
- 平成27年4月 神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス共通教養科目教育部会委員 (平成28年3月まで)
- 平成28年4月 神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス共通教養科目教育部会委員 (平成30年3月まで)
- 令和2年4月 神奈川大学 ファカルティ・ディベロップメント・学生支援推進委員会委員 (令和4年3月まで)
- 令和3年8月 日本ゴルフ学会関東支部セミナー講師 日本ゴルフ学会関東支部第31回合宿セミナー特別講師 (令和3年8月まで)

学会及び社会における活動等

現在所属している学会：日本体育学会、神奈川体育学会

- 昭和54年4月 フェリス女学院大学体育会バスケットボール部 コーチ (昭和60年3月まで)
- 昭和54年4月 日本体育大学学友会ゴルフ部 コーチ (昭和55年3月まで)
- 昭和54年4月 日本体育学会 (国内学会) 会員 (現在に至る)
- 昭和54年4月 日本体育学会 (国内学会) 体育管理学専門分科会 (現在に至る)
- 昭和58年8月 日本余暇文化振興会後援小学生キャンプ マネージメントディレクター (昭和58年8月まで)
- 昭和59年4月 東邦大学医学部体育会ゴルフ部 コーチ (昭和60年6月まで)
- 昭和59年6月 川崎市心身障害センター障害者スポーツ指導員 指導員 (昭和60年6月まで)
- 昭和59年7月 日本余暇文化振興会後援小学生キャンプ マネージメントディレクター (昭和59年7月まで)

- 昭和63年 4月 東洋英和女学院短期大学体育会バスケットボール部 コーチ (平成 3年3月まで)
- 昭和63年 4月 桜美林大学体育会ゴルフ部 コーチ (平成元年3月まで)
- 平成元年 4月 東洋英和女学院短期大学体育会ゴルフ部 コーチ (平成 3年3月まで)
- 平成 3年 4月 神奈川体育学会 (国内学会) 会員 (現在に至る)
- 平成 4年 1月 日本科学者会議 会員 (現在に至る)
- 平成 4年 4月 個人研究 学生ゴルフ競技者の指導方法に関する研究 (現在に至る)
- 平成 4年12月 日本ゴルフ学会 (国内学会) 会員 (平成31年3月まで)
- 平成 5年 4月 横浜市教育委員会、「21世紀構想委員会」委員 (平成 6年3月まで)
- 平成 6年 8月 (社)全国大学体育連合夏期中央研修会 講師 (ゴルフ実技部門) (平成 6年8月まで)
- 平成 7年 4月 神奈川県ゴルフ協会、研修競技会 平塚市ゴルフ協会代表選手 (平成21年3月まで)
- 平成 7年 8月 (社)全国大学体育連合夏期中央研修会 講師 (ゴルフ実技部門) (平成 7年8月まで)
- 平成10年 1月 神奈川体育学会 (国内学会) 理事 (平成11年12月まで)
- 平成10年 6月 神奈川県ゴルフ協会主催、市町村対抗戦 平塚市代表選手 (平成10年6月まで)
- 平成10年 8月 (社)全国大学体育連合北陸支部夏期中央研修会 講師 (ゴルフ実技、講義) (平成10年8月まで)
- 平成11年 5月 第3回神奈川体育学会大会 実行委員長 (平成11年5月まで)
- 平成13年 4月 関東学生ゴルフ連盟 理事 (平成31年3月まで)
- 平成16年 1月 神奈川体育学会 (国内学会) 理事 (平成19年3月まで)
- 平成16年 4月 国内共同研究 (東京ゴルフ倶楽部) 日本人による初期のゴルフ場建設とゴルフクラブ組織設立に関する歴史的研究 (平成18年3月まで)
- 平成16年 4月 平塚市ゴルフ協会 理事 (平成28年3月まで)
- 平成16年 4月 日本ゴルフ学会 (国内学会) 関東支部 理事 (平成31年3月まで)
- 平成16年 4月 日本ゴルフ学会関東支部 理事 (平成31年3月まで)
- 平成26年 4月 日本ゴルフ学会 (国内学会) 関東支部選出代議員 (平成31年3月まで)
- 平成26年 4月 日本ゴルフ学会関東支部選出代議員 関東支部選出代議員 (平成31年3月まで)
- 平成30年 4月 日本学生ゴルフ連盟 理事 (平成31年3月まで)
- 平成31年 4月 関東学生ゴルフ連盟 諮問委員 (現在に至る)

業績

(著書)

- | | | | |
|---|--------------------------|----|----------------------|
| 1 | オリンピック事典 | 共著 | 昭和56年10月 (プレスギムナスチカ) |
| 2 | 地方行政選書：健康体力づくり | 共著 | 昭和58年 3月 (ぎょうせい) |
| 3 | 学生のためのゴルフ教本 | 共著 | 平成 2年 5月 (さつき書房) |
| 4 | 日本体育・スポーツ教育大系第13巻女性とスポーツ | 共著 | 平成 6年 7月 (教育出版センター) |
| 5 | 体育・スポーツ質疑応答集 | 共著 | 平成 7年 6月 ぎょうせい |
| 6 | 学生ゴルフ教育必携 | 共著 | 平成 7年 7月 (さつき書房) |

- | | | | | |
|----|---|----|---------|------------------------------------|
| 7 | スポーツ・健康科学テキスト
第7章スポーツ・マネージメント | 共著 | 平成20年4月 | (杏林書院) |
| 8 | 経営学部 基礎教育シリーズ 第5巻
健康科学の基礎 ―身体運動のススメ― | 共著 | 平成22年3月 | 経営学部 基礎教育シ
リーズ(神奈川大学 経
営学部)5 |
| 9 | スポーツ健康科学テキスト第2版第7章
スポーツ・マネジメント | 共著 | 平成24年4月 | (杏林書院) |
| 10 | 身体科学・スポーツ科学テキスト | 共著 | 平成26年9月 | (杏林書院)初版 |
| 11 | 健康科学・生涯スポーツ必携 | 共著 | 平成27年3月 | (杏林書院) |
| 12 | 新型コロナウイルス感染症流行における
大学生の生活習慣の変化について | 共著 | 令和4年3月 | 国際経営論集(神奈川大
学 経営学部)(63) |

(学術論文)

- | | | | | |
|---|---|----|----------|------------------------|
| 1 | 地域社会における体育広報の役割につい
て―特に地域住民を対象とした体育広報
の手段と効果について― | 単著 | 昭和56年1月 | 日本体育大学 |
| 2 | 地域社会における体育広報―スポーツ教
室参加者募集の手段と効果― | 共著 | 昭和56年8月 | 日本体育学会第32回大会 |
| 3 | 健康産業に対する学生の就職希望者に関
する―考察―その求人実態と本学(日本
体育大学)社会体育専攻学生の意識を中
心として― | 共著 | 昭和57年3月 | 日本体育大学紀要第11巻
75-82頁 |
| 4 | 地域社会における体育広報の手段とその
効果―特に2つの型の運動者における効
果― | 共著 | 昭和57年3月 | 日本体育大学紀要第11巻
83-90頁 |
| 5 | 工場における健康・体力づくりと職場の
活性化に関する実験的研究―X線及び加
速度脈派からの考察と対策の提案― | 共著 | 昭和58年8月 | 日本体育学会第34回大会 |
| 6 | 工場における健康・体力づくりと職場の
活性化に関する実験的研究―健康と体力
の現状把握とその原因の追求に必要な調
査― | 共著 | 昭和58年8月 | 日本体育学会第34回大会 |
| 7 | 工場における健康・体力づくりと職場の
活性化に関する実験的研究―対策提案の
実施とその影響― | 共著 | 昭和58年8月 | 日本体育学会第34回大会 |
| 8 | 軽作業職場における健康・体力づくりの
方法に関する研究 | 共著 | 昭和59年3月 | 日本体育大学紀要第13巻
81-88頁 |
| 9 | 工場における健康・体力づくりと活性化
の波及効果―スポーツ活動への影響と
リーダーの機能― | 共著 | 昭和59年10月 | 日本体育学会第35回大会 |

- 10 工場における健康・体力づくりと活性化の波及効果－安全面と家庭生活への影響－ 共著 昭和59年10月 日本体育学会第35回大会
- 11 非行少年における非行化のメカニズムへのアプローチ－菊池のモデルを中心として－ 単著 昭和60年3月 日本体育大学助手会報告, 『すぽーつ』第3号
- 12 喘息児の自転車エルゴメータによる運動負荷の検討について 共著 昭和60年5月 東邦大学教養紀要第16巻 109-115頁
- 13 工場における健康・体力づくりの効果 共著 昭和60年9月 日本体育大学紀要第11巻
- 14 東洋英和女学院短期大学学生の健康と体力に関する調査その2－体力測定と健康意識アンケート調査から 共著 昭和62年3月 東洋英和女学院短期大学研究紀要第26号 69-81頁
- 15 スポーツ振興に及ぼすマス・コミュニケーションの機能 共著 平成元年3月 日本体育大学紀要第18巻 107-111頁
- 16 手長とゴルフクラブのグリップの太さ(1) 共著 平成元年5月 日本体育学会 神奈川支部紀要 体育研究第24号 13-18頁
- 17 試合の実績からみた少年スポーツクラブの一考察－横浜少年サッカークラブについて－ 共著 平成3年6月 日本体育学会神奈川支部会平成3年度第1回研究発表会
- 18 高速艇乗船者の腰痛に関する検討 共著 平成3年10月 日本体育学会第42回大会
- 19 女性クラブ運動者の身体意識に関する一考察 共著 平成4年9月 CIRCULAR No.5343-47頁
- 20 女性クラブ運動者の健康意識について 共著 平成4年10月 日本体育学会第43回大会
- 21 子どものスポーツクラブに対する母親の意識について－横浜のサッカークラブの調査から－ 共著 平成4年12月 日本体育学会第43回大会
- 22 ゴルフの技術に及ぼす体力に関する基礎的研究 共著 平成5年1月 神奈川大学経営学部「国際経営論集」第4号 245-259頁
- 23 サッカークラブに対する母親の態度形成－横浜のサッカークラブの調査から－ 共著 平成6年3月 日本体育学会神奈川支部会紀要 体育研究第27号 13-19頁
- 24 教育現場に於ける運動場の善し悪しを判別するある視点からみた基準値に関する研究－その2, K大学の運動場の善し悪しと今後の課題－ 単著 平成7年2月 神奈川大学経営学部「国際経営論集」第8号
- 25 学生の体格および体力に関する統計的分析－平成1年(1989年)値～平成8年(1996年)値－ 共著 平成9年 CIRCULAR58号

- 26 教育現場に於ける運動場の善し悪しを判別するある視点からみた基準値に関する研究－その1, TJ大学の運動場の善し悪しと今後の課題－ 共著 平成9年2月 神奈川大学経営学部「国際経営論集」第12号169-187頁
- 27 学生の体格、体力、および健康に関する統計的分析 共著 平成16年3月 国際経営論集123-129頁
- 28 日本人による初期のゴルフ場建設とゴルフクラブ組織設立に関する歴史的研究 共著 平成18年6月 神奈川大学国際経営研究所 国際経営フォーラム (No.17/2006) ,67-70頁
- 29 SHC学生の体格、体力および生活習慣における統計的分析
平成2年値(1990年)～平成22年値(2010年) 共著 平成23年3月 神奈川大学経営学部 国際経営論集(41) ,21-35頁
- 30 ボールゲームにおける個人戦術のスポーツ運動学的研究バスケットボールゲームにおけるミスプレーに着目して 共著 平成25年3月 神奈川大学経営学部 国際経営論集(45) ,93-103頁
- 31 ボールゲームにおける状況判断力の向上に関する研究－バスケットボールにおける2対1のアウトナンバー攻撃の状況判断に着目して－ 共著 平成29年10月 神奈川大学経営学部 国際経営論集52,97-108頁
- 32 パフォーマンス向上のための一考察－クロスカントリースキー競技 事例報告1－ 共著 令和元年12月 国際経営フォーラム (30) ,169-176頁(神奈川大学 国際経営研究所)
- 33 大学生女子におけるバスケットボール競技のミスプレーについて－バスケットボールゲームにおけるミスプレイに着目して－ 共著 令和元年12月 国際経営フォーラム (30) ,149-163頁(神奈川大学 国際経営研究所)
- 34 大学生における授業後の体力水準と運動習慣について 共著 令和2年10月 神奈川大学 国際経営論集(60) ,1-7頁(神奈川大学経営学部)
- 35 ボールゲームにおける認知的トレーニングの有効性についての研究 共著 令和2年12月 神奈川大学 国際経営フォーラム (31) ,301-323頁(神奈川大学国際経営研究所)
- 36 ボールゲームにおける状況判断過程に関する研究－バスケットボールゲームのパスミスに注目して－ 共著 令和3年10月 神奈川大学 国際経営論集62(神奈川大学経営学部)

定年退職教授の略歴



広嶋 進教授

(1952年12月27日生まれ)

主な履歴

- 1976年3月 早稲田大学第一文学部日本文学科卒業
- 1976年4月 (株)日本旅行渋谷営業所勤務(77年7月まで)
- 1982年3月 早稲田大学大学院文学研究科日本文学博士前期課程修了
- 1986年4月 埼玉大学教養学部非常勤講師(1988年3月まで)
- 1987年3月 早稲田大学大学院文学研究科日本文学博士後期課程修了
- 1987年4月 早稲田大学文学部非常勤講師(1988年3月まで)
- 1988年4月 ノートルダム清心女子大学文学部講師、のち助教授、教授(2009年3月まで)
- 1995年4月 ノートルダム清心女子大学大学院文学研究科日本語日本文学専攻博士課程前期担当(のち博士課程後期も担当)
- 2003年3月 博士学位(文学)(早稲田大学)取得(『西鶴作品の研究—構成・技法・成—』)
- 2005年4月 ノートルダム清心女子大学生生活文化研究所所長(2007年3月まで)
- 2006年4月 ノートルダム清心女子大学文学部日本語日本文学科学科長
岡山大学教育学部大学院教育研究科非常勤講師(2006年7月まで)
- 2007年4月 ノートルダム清心女子大学大学院文学研究科日本語日本文学専攻主任
- 2009年4月 神奈川大学経営学部国際経営学科教授(現在に至る)
- 2014年4月 日本大学文理学部非常勤講師(2015年3月まで)
- 2017年4月 神奈川大学評議会評議員(2019年3月まで)

学会及び社会における活動等

所属学会：日本近世文学会、俳文学会、早稲田大学国文学会、西鶴研究

1988年4月～ 国文学研究資料館調査員（金比羅図書館担当）

1989年3月

1990年4月～ 玉野市民会館大学講師

2002年3月

1992年4月～ 国文学研究資料館調査員として調査書誌カードを作成（黒川 文庫・正宗敦夫
2002年3月 文庫・岡山大学池田文庫・宮城県立図書館伊達文庫・山口大学棲息堂文庫）

1995年11月 ノートルダム清心女子大学にて日本近世文学会秋季大会（全国大会）を世話役
として開催

2002年4月～ 日本近世文学会常任委員

2004年3月

2009年度～ 神奈川大学全国高校生俳句大賞専門委員会委員

2014年度

2010年4月及び 早稲田大学国文学会（窪田空穂）賞選考委員長

2011年4月

2011年4月～ 早稲田大学国文学会理事

2015年3月

2013年4月～ 国文学研究資料館調査委員として大磯の真山青果文庫の調査書誌カード作成
2018年3月 を担当

主な著作等

（著書）

- 1 山本登朗編『伊勢物語 享受の世界』所収 分担執筆 2010年5月 竹林舎
「西鶴と『伊勢物語』」
- 2 『西鶴新解 色恋と武道の世界』総336頁 単著 2009年3月 ぺりかん社
- 3 『西鶴探究 町人物の世界』総328頁 単著 2004年7月 ぺりかん社
- 4 堀切実編『近世文学研究の新展開—俳 分担執筆 2004年2月 ぺりかん社
諧と小説』所収「『好色一代男』と西行の
流行—巻七の七「新町の夕暮鳥原の曙」の
視点から」
- 5 谷脇理史・西島孜哉編『西鶴を学ぶ人の 分担執筆 1993年6月 世界思想社
ために』所収「西鶴の遺稿作品」
- 6 谷脇理史・江本裕編『西鶴必携』所収「西 分担執筆 1993年2月 學燈社
鶴の謎20」
- 7 浅野晃・雲英末雄・谷脇理史・原道生・ 分担執筆 1992年6月 勉誠社
宗政五十緒編『元禄文化の開花 I・西鶴
と元禄の小説』所収「西鶴遺稿集の刊行—
『万の文反古』を中心に」

(編著)

- 1 谷脇理史・広嶋進編『新視点による西鶴 共編 2011年8月 清文堂出版
への誘い
- 2 諏訪春雄・広嶋進・染谷智幸編『西鶴と 共編 2010年11月 笠間書院
浮世草子研究』4

(翻刻・注釈・現代語訳書)

- 1 (翻刻・頭注・現代語訳・解説) 富士昭雄・共著 2008年8月 小学館
広嶋進共著『新編日本古典文学全集69
井原西鶴集4』所収『武家義理物語』『新可
笑記』
- 2 (翻刻・現代語訳・解説)『大晦日を笑う』世 単著 2005年4月 清文堂出版
間胸算用』 総284頁
- 3 (翻刻・脚注・解説) 広嶋進・杉本好伸共 共著 2004年2月 勉誠出版
著『新編西鶴全集4』所収『世間胸算用』
- 4 (翻刻・脚注) 杉本好伸・広嶋進共著『新 共著 2003年2月 勉誠出版
編西鶴全集3』所収『日本永代蔵』

(学術論文等)

- 1 「青果の西鶴研究」『真山青果とは何者か?』 2019年7月 文学通信
- 2 「『西鶴置土産』神話の源流とその形成—
忘れ去られた青果戯曲」『近世文芸 研究
と評論』 94 2018年6月
- 3 「『心境』と『心境小説』—昭和文学の源流」 2016年3月 神奈川大学
『プロジェクト・パーパー』33 国際経営研究所
- 4 「『西鶴諸国はなし』の絵—反復と独立」 2010年8月 至文堂
『国文学解釈と鑑賞』

(以下略 計51件)

(学会発表)

- 1 「真山青果の西鶴研究」真山青果学術シン 2016年12月
ポジウム
- 2 「『西鶴置土産』神話の形成—無視された青 2016年3月
果戯曲」第38回西鶴研究会
- 3 「西鶴作品と『徒然草』注釈書」国文学資料 2006年8月
館ダニエル・ストリューブ研究会

(以下略 計11件)

(作成した教科書・教材)

- 1 『西鶴が語る江戸のダークサイド』共編著 共著 2011年3月 ぺりかん社
大学講義用テキスト

- 2 『西鶴諸国はなし』共編著 大学講義用テキスト 共著 2009年 3月 三弥井書店
- 3 『西鶴が語る江戸のラブストーリー』共編著 共著 2006年 9月 ぺりかん社
著 大学講義用テキスト
- 4 『西鶴が語る江戸のミステリー』共編著 共著 2004年 4月 ぺりかん社
大学講義用テキスト